

三八地域初「グローバルG.A.P.」認証の取得！！

農業法人「青森農産株式会社」(新郷村)が、三八地域では初めてとなる「グローバルG.A.P.」認証(にんにく)を9月29日に取得しました。
 また11月14日に櫻井新郷村長へ報告し、坂根克也専務は、「世界基準のGAP認証を取得したことで、生産しているにんにくの安全性が証明された。今後は有利販売につなげていきたい」と意気込みを語っていました。



佐々木常務(左)と坂根専務(中央)

田子町初「あおもり土づくりの匠」認定！！

田子町でにんにく栽培している上平満広さんが、田子町では初めてとなる「あおもり土づくりの匠」に認定されました。
 「あおもり土づくりの匠」は、高度な土づくりを実践し、地域農業のリーダーとして健康な土づくりの指導的な役割を担う生産者を県が認定するもので、三八管内の認定者は、上平さんで9名となりました。
 今後も土づくりなどで、地域での活躍が期待されます。



認定証を授与された上平さん

青森県「攻めの農林水産業賞」で「特別賞(収益力強化部門)」を受賞！！

南部町でりんごとおうとうの栽培を行っている留目秀樹さんが、青森県「攻めの農林水産業賞」の収益力強化部門で特別賞を受賞し、1月23日に青森市で三村青森県知事から表彰状が授与されました。
 留目さんが取り組むりんごの省力栽培とおうとうの加温栽培による収益性の高い果樹複合経営や、おうとう新品種「ジュノハート」のブランド化の中心的な役割を果たすなど地域の発展に貢献していることが高く評価されました。



表彰式での留目佐智子さん

！農薬のドリフトが発生しています！

管内で農薬のドリフトが多く発生しています。
 農薬を使用する際は以下の点に細心の注意を払いましょう。

- ① 使用基準をよく確認する
- ② 農薬が飛散しないよう風の強さや向きに細心の注意を払う
- ③ 使用時は事前に周辺の住宅等に広くお知らせする
- ④ 使用したら必ず記録を残す

その他、管内の農業・農村の動きや農業普及振興室の活動状況はこちらをご覧ください！
<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/sa-nosui/>



みどりの通信

令和元年度第3号

〈三八地域県民局地域農林水産部〉
 ・農業普及振興室
 〒039-1101 八戸市大字尻内町字鴨田7
 TEL: 0178-27-5111 (代表)
 TEL: 0178-27-4444 (直通)
 FAX: 0178-27-3323
 ・農業普及振興室分室
 〒039-0134 三戸町同心町字同心町平54-7
 TEL: 0179-23-3264
 FAX: 0179-23-3274

～三八地域「軽量野菜」栽培推進セミナーを開催！～

当室では、高齢化が進み農業生産力の低下が心配されることから、高齢者でも取り組める軽量野菜の作付を推進することとし、昨年度から2か年間、「三八高齢者でも活躍できる軽量野菜栽培推進事業」を実施してきました。

その一環として、令和2年1月30日(木)、きざん八戸において、「三八地域『軽量野菜』栽培推進セミナー」を開催、農業者や関係機関など約50名が参加しました。

当日は、東京青果(株)鈴木秀臣営業管理部長から「これからますます伸びる、軽量野菜！」と題して講演いただいたほか、当室担当者から福島県でのピーマン省力化技術の事例と、作付の拡大が見込まれるスナップエンドウやピーマンなどの3品目で実施した労力軽減や品質向上をねらった栽培技術実証ほの結果を紹介しました。

特に、南部町と五戸町で実証したスナップエンドウの秋収穫作型については、高温障害対策など改善の余地はあるものの、市場入荷が少なく高単価であることから、参加者の関心を引いていました。

今後、収益性等これまでの取組をまとめた推進パンフレット「軽量野菜をつくってみませんか」(仮称)を活用しながら、引き続き、軽量野菜の作付を推進していきます。



スナップエンドウ現地検討会



鈴木営業管理部長による講演



栽培推進セミナーの様子

「今年も美味しくできました、八戸いちご」

三八地域では、昭和30年代から八戸市市川地区を中心にいちご栽培が盛んに行われてきました。令和元年度産の出荷も昨年11月上旬から本格的に始まり、今年の6月中旬まで続く見込みです。

「八戸いちご」は、県外の温暖地域に比べて、冷涼な気候を活かした栽培が特徴です。特に、冬期間のいちごは、時間をかけて熟するため、うま味が凝縮した美味しさがあり、消費者から高い評価を受けています。

今後も当室では、「八戸いちご」の発展に向け、関係機関と連携しながら、ハダニ類防除の天敵利用等を進めることで、さらなる品質の向上を支援していきます。



ぶどう剪定講習会開催される

12月20日に、三戸町で南部地方ぶどう協会主催の「ぶどう剪定講習会」が開催され、南部町・三戸町のぶどう生産者約20名が参加しました。

「キャンベル・アーリー」では、南部地方ぶどう協会の石井幸生いしい ゆきおさんが、「シャインマスカット」では、同協会の宮野晶夫みやの あきおさんが講師を務め、充実した結果母枝を20cm程度の間隔で2芽残して剪去する短梢剪定について、実演を交えて説明しました。

参加者は、樹勢の判断の仕方や残す枝の位置などについて活発に意見交換しながら、自身のほ場での剪定作業の参考としていました。

石井さん
(中央) ▶



◀ 宮野さん

若手農業者の視察研修を実施しました

農業普及振興室では、農業技術の習得や向上、交流促進を図るため管内の新規就農者や4Hクラブ員等の若手農業者を対象に視察研修や冬期研修会を実施しています。

8月29日に、岩手県奥州市及び北上市において、①りんごのジョイント栽培などの取組、②スマート園芸技術の研究を視察し、参加者は各取組に対して関心を寄せていたほか、研修全体を通して情報交換し交流を深めました。



りんごのジョイント栽培視察

五戸町女性農業者研修会

～聞いておきたい農作業の知識と事例～開催

11月5日、五戸町倉石温泉を会場に「五戸町女性農業者研修会」が開催され、五戸町のViC・ウーマン、カッチャレンジャークラブ、若手女性農業者の22名が参加しました。

研修会では、当室からは農薬の基礎知識等について、(株)みちのくボタからは農業用機械の安全操作について講義と実習を受けました。

また、ViC・ウーマンの高村りり子たかむら りりこさんからは働き方の工夫、農業経営士の漆戸亨うるしど とおるさんからは顧客の獲得に関する取組を伺いました。

盛りだくさんの内容でしたが、多くの質問が出され、予定時間を超えるなど参加者の皆さんは熱心に受講していました。



農作業安全についての実習



漆戸さんの取組についての紹介

令和元年度青森県いきいき男女共同参画社会づくり表彰

女性のチャレンジ賞受賞

11月9日に「令和元年度青森県いきいき男女共同参画社会づくり表彰式」が開催され、高村りり子たかむら りりこさん(五戸町)が起業や地域活動にチャレンジし、活躍する女性個人及び団体に贈られる「女性のチャレンジ賞」を受賞しました。

高村さんは、ライフステージに応じた家族経営協定内容の見直しや、たかむら農園株式会社での従業員の働きやすい労働環境づくり、農作業安全を啓発する「カッチャレンジャークラブ」の一員としての活動、ViC・ウーマンとしての地域活動が認められての受賞となりました。



表彰を受ける高村さん

青色申告推進研修会を開催

12月12日に南部町総合保健福祉センター『ゆとりあ』で青色申告推進研修会を開催、28名が参加しました。

たかち総合事務所の高地豊人たかち とよひと税理士が「簿記記帳でスッキリ、青色申告でがっちり！」をテーマに講演し、①白色申告から青色申告(簡易)への移行は容易、②会計ソフトを使えば複式簿記の知識がなくても経理ができ、経営分析を通して経営改善にも活用可能、③青色申告特別控除や専従者給与の必要経費算入は節税効果大きいことなどを学びました。



高地税理士による講演